



## 「心を開いて相手に近づく」……「挨拶(あいさつ)」

私(校長)は、長年生きてきてみて「あいさつができるかできないかで、その人の人生が変わるのではないか。」とまで思っています。たかが「あいさつ」ですが、あなどれないパワーを持っているのも「あいさつ」です。これからの時代を生きていく子どもたちに、この思いを伝えようと5月31日(金)の全校集会で以下のようなお話をしました。一部を掲載させていただきます。

今日はみんなが幸せになる魔法の言葉を教えます。

これが使えるようになると「家族」も「学校」も「会社」でも、そして、みんなが住んでいる「日本」中が、今よりも少しでも幸せになると思います。

その言葉とは「挨拶」です。「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」「ありがとうございます」「ごちそうさま」などの言葉です。「えっー」そんなものかと思うかもしれません。こんな簡単なものなのですが、実はとってもとっても大切なものであり、すごいパワーがあります。

今、世の中を見ているといろんなことが起きています。「人のことを信じられずに相手とトラブルを起こした事件」「原因は些細(ささい)なことなのに、お互いがいがみ合って相手を傷つけたり殺(あや)めたりしてしまった事件」「家族のなかでの不幸な事件」ちょっと信じられないことがたくさん起こっています。

少し前は「人間と人間がもっと近い存在」だったのに、「人間と人間」が、だんだん離れていってしまっている感じがします。友達関係でも「あの人と友達になりたいと思っているのになかなかうまくいかない」ことや、嫌われているわけじゃないのに相手は自分のことを嫌いなんじゃないかと思ってしまうこともあったり、人と人の関係って難しいことが多いですね。【この後、例を2つ紹介しました。ここでは省略。】

「あいさつ」という魔法の言葉は、漢字だと「挨拶」と書きます。元々は「禅宗」の言葉から来ています。禅宗では、「挨」も「拶」も「押し合う」という意味があります。また、「挨」は「開く」、「拶」は「迫る」という意味があります。すなわち、「挨拶」は「心を開いて相手に近づく」ということなのです。みんなの中には、「あいさつはちょっと恥ずかしいな」とか「相手の人があいさつをしてきたら自分も言おう」などと思っている人もいます。あいさつは「慣れ」です。あいさつをすることが特別なことでなく、自然に当たり前のようにできるようになることが大切なのです。

あいさつは「いつでも、どこでも、誰にでも」できるようになるといいなと思っています。「自分の担任の先生だけでなく隣のクラスの先生」にも、また、「自分のうちのお父さんやお母さんだけでなく、近くに住んでいるおじさんやおばさん」にも、集団登校の時にお世話をしてくださっている方たちにも、あいさつができるようになってください。

桜小学校の子どもたちには、あいさつが当たり前のようにできるようになって、しかも、すてきなあいさつ(表情豊かに、感情込めて)ができるような「あいさつ名人」になり「幸せ」になってほしいと思っています。

日本に来ていろんな家庭にホームステイをしたある外国の人の話を思い出しました。「僕たちの国では朝起きたらみんなにおはようと元気よくあいさつし合うのが当たり前なのに、どうして日本人ってあいさつをしないのですか？ととてもとても不思議です。」と言っていたそうです。この国、この人の家庭では「あいさつ」し合うのが当たり前なことなのです。朝起きたら、「親子」「夫婦」「兄弟姉妹」が「おはよう」と声かけ合う所から一日が始まるのだと思います。

あいさつについては、考えさせられることがたくさんあります。でも、桜小学校の子どもたちは、あいさつが上手にできるほうだと思います。桜小学校の子どもたちがあいさつ上手なのは、各ご家庭できちんと教えていただいているからかなとも思っています。しかし、一人ひとりの子どもたちの「幸せ」、そして所属する家庭や社会全体の「幸せ」のためにも、もっともっと上手になってほしい、小さいときからあいさつを習慣化して、あいさつが特別なことでなく自然に出てくる子どもになってほしいと思っています。是非、各ご家庭でも「あいさつ」について、話し合いの時間をとっていただければ嬉しいです。

# 給食食材測定 検査結果 平成25年5月10日～5月31日分

給食の放射性物質測定結果です

	食材の事前測定	1食分まるごと測定		食材の事前測定	1食分まるごと測定
5月10日	不検出	不検出	5月23日	不検出	不検出
5月13日	不検出	不検出	5月24日	不検出	不検出
5月14日	不検出	不検出	5月27日	不検出	不検出
5月15日	不検出	不検出	5月28日	不検出	不検出
5月16日	不検出	不検出	5月29日	不検出	不検出
5月17日	不検出	不検出	5月30日	不検出	不検出
5月21日	不検出	不検出	5月31日	不検出	不検出
5月22日	不検出	不検出			

☆☆  
 郡山市の学校給食で使用する食材は、国の定める食品中の放射性物質に係わる一般食品の新基準値である100ベクレルよりもさらに厳しい測定器の検出限界値である10ベクレル未満としています。  
 ☆☆☆

- 【給食の放射性物質の測定について】**
- 食材の事前測定（2～4日後に使う予定の食材を測定しています。）
  - 1食分まるごと測定（当日、子どもたちが食べる、ご飯やパンなどの主食、牛乳、副食を、そのまま測定しています。）
  - 測定は、ガンマ線スペクトロメーターLB2045を使用しました。
  - お米は出荷された段階で全量全袋検査、その後JA郡山市において測定器の検出限界値10ベクレル未満で、玄米・精米の段階で、さらに、その日に提供される「給食まるごと1食」の中でもご飯を測定する三重の検査体制となっております。